

京都市森林経営管理意向調査業務 受託候補者選定基準

本選定基準は、提出された提案書類に基づき、提案者の事業実施能力を審査し、受託候補者を選定するための基準を示すものである。

1 選定者

「京都市森林経営管理意向調査業務受託候補者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）において評価し、受託候補者を選定する。

2 選定方法

別表に掲げる評価項目について採点し、選定委員会による評価点が 60 点以上で最も高い提案を行った者で、受託者として適切と判断された者を、受託候補者として選定する。

提案者が 1 者であった場合でも、選定手続を行う。

3 評価項目及び配点

評価項目及び配点については、別表のとおりとする。

4 評価点

各選定委員は、別表の各項目について A～E の評価を行い、各項目の配点に以下の評価係数を乗じたものを各評価委員の評価点とする。

評価	評価係数	評価内容
A	1. 0	極めて良好
B	0. 8	良好
C	0. 5	普通
D	0. 3	やや不十分
E	0. 1	不十分

項目毎に各選定委員の評価点を平均し、全項目で合計することにより、選定委員会の評価点を決定する。

5 失格の条件

以下に掲げる場合は、無条件で失格とする。

- (1) 提案書類に虚偽の記載があった場合
- (2) 見積金額が委託上限額を超えている場合
- (3) 提案書類に必要な項目が記載されていない場合、又は提案内容が仕様書の要件を満たしていない場合

(別紙)

別表 評価項目及び配点

項目		評価内容	配点
体制		・業務の実施に必要な人員及び体制が整っているか。 ・人員及び体制には十分な経験と能力が備わっているか。 ・森林所有者からの連絡に適切に対応できる窓口等が設置されているか。	16
企画内容	調査物件の作成	・調査物件の作成及び調査票の配布のため、林地台帳等からどのような情報を抽出加工しなければならないかが想定できているか、具体的な基礎資料が示されているか。	8
	調査票の配布・回収	・調査票の配布方法が具体的で、森林所有者が回答しやすい手法が提案されているか。 ・調査票の回収方法は、目標とする回収率を達成する、または回収率を高めるための、効率的で具体的な方法が提案されているか。	16
	説明会の開催	・開催手順は具体的か。 ・多くの所有者が参加しやすい方法か。 ・社会情勢に応じた対策や手法が提案されているか。	12
	所有者調査	・調査対象者の抽出及び調査の手順が具体的か。 ・履行期間内に調査が完了するような手順ごとの具体的進捗が示されているか。	16
	調査結果の集計・分析	・集計及び分析の方法は具体的か。 ・とりまとめの内容は具体的に示されているか。 ・図表等、視覚的なものはあるか。 ・分析結果や成果品は今後、利用や加工がしやすい内容及び形式であるか。	16
業務実績		・過去の業務実績は豊富か。 ・類似の業務実績が豊富でノウハウの蓄積があるか。 ・類似の業務において優れた成果を残しているか。	6
見積金額		・税込みの見積金額の最低価格を8点とし、次の計算式により評価（小数点第2位を四捨五入） 《委託金額の上限額：X, 最低見積金額：Y, 評価対象見積金額：Z》※X=Y=Zの場合は8点とする。 $Z \text{ の評価点数} = 8 - (Z - Y) \div (X - Y) \times 8$ ※応募が1者の場合、評価点は5点とする。	8
		・見積の積算内容が詳細に記載されているか。	2
		合計	100